

平成二十七年年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

篠崎 将貴 国立公文書館所蔵の法務省移管

戦争裁判関係資料について―

極東国際軍事裁判弁護関係資料を中心―

料を中心―

〈文化財学専攻〉

一瀬 勇士 盆行事の歴史の変遷と地域受容

―長崎県の事例を中心に―

崎野祐太郎 九州地方における周溝墓の流入

と古墳成立のプロセス―弥生後

期から古墳前期を中心として―

白濱 聖子 ロザリオ、メダイなどの信心具

から読み取るカトリックの再受

容―東京国立博物館所蔵長崎奉

行所旧蔵キリシタン資料から読

み取る 19 世紀におけるカトリッ

クの再受容についての基礎的研

究―

園田 涼太 律令国家成立期の国境としての

九州―隼人・新羅問題と渡来人

の動向―

宮木 貴史 九州地方におけるいわゆる石見

型製品の研究―埴輪、木製品、

石製品の成立と展開について―

山下 祐雨 木製農具の製作技術からみた類

型化と機能―主に北部九州出土

品を中心として―

史学・文化財学科

〈日本史・アーカイブズコース〉

安陪 貴晃 幕末期の福岡藩について―度重

なる政権交代と弾圧が与えた影

響―

荒木 成幸 鎌倉幕府と荘園制

池田 優 平安後期から鎌倉期における

「一揆」を見る―住人・百姓等

解からの展開―

伊藤 和真 加藤清正について

官人陰陽師と法師陰陽師

岩崎明日華 参勤交代と江戸時代

江野 泰輔 鉄砲伝来からその後の影響につ

いて

大塚 佳太 薩摩藩の支藩・佐土原藩との比

較

押川 華菜 石垣原の戦い

甲斐 敬之 慶長 5 年の豊後石垣原における

戦いについて―大友氏からみた

石垣原合戦―

黒木 亮輔 大坂城と大阪城

黒田 夏生 男色の歴史の変遷

後藤 春香 「政」から見る天皇と太政官の

関係―朝政と内裏政務の比較を

通して―

櫻田 香代 加藤清正と熊本

佐藤亜斗夢 日向国の江戸期

清水 巧 天草・島原の乱―原因とその後

の影響

下地龍太郎 太田牛一について

末永 謙吾 竹崎季長について

田中 宏樹 黒田官兵衛の生涯

田中 佑佳 豊後大友氏の対外交渉

田村つぐみ 徳川大坂城について

富永 一希 南北朝期における島津氏―薩摩

国・大隅国・日向国を中心に―

中尾 知良 江戸時代の身分について

成重 将希 徳川家光―生まれながらの将軍

の姿―

西本 朗崇 大坂の陣

橋口 涉 信長政権と室町幕府

服部 智之 石田三成の生涯

東 脩平	豊臣秀吉の調略	佐名木岳人	東南アジアの銀経済―東南アジアにおいて石見銀が与えた影響―	山本 千里	を表現したか 落書きから見る古代都市ポンペイの都市生活
樋口 翔	江戸時代の海外交流				
又吉つかさ	戦国時代の水軍について				
宮本 佳奈	バテレン追放令について	相馬 奎子	哲学的人間学に基づく人間の本質	吉元 清楓	古代ギリシアとローマにおける建築様式について
三好 花奈	芸予関係における婚姻政策の意義と役割について―小早川隆景の果たした役割と関係性―	田尻 顕大	ドイツ第二帝国皇帝とビスマルク		
柳詰 竜希	徳川吉宗とその政策	長田 萌	15世紀から16世紀のフィレンツェにおけるメディチ家の支配	朝廣 栞	宮崎の神々―神々のゆかりの地と行事―
山下 恵	織田信長の生涯	西本 朋央	日本海軍の戦略思想の変化―日本海軍が大艦巨砲主義から航空主兵論に切り替えたのはいつか?―	稲垣慎太郎	別府温泉の観光と伝承
湯浅 智之	山城国一揆八年間の自治的支配			運乗 昂樹	犬が迎えた明治維新―犬と人の関わり―
横山 美穂	2つの事件から見る赤穂浪士の姿	野本 紘司	第1回から第3回目までの十字軍	河田 正悟	軍人の衣食住―昭和の軍隊生活と文化―
吉田 翔馬	公文書における権利関係―開示、非開示問題を中心に―	林 奈津美	建設事業から見る古代ローマ帝国	川野 裕貴	港機能から見た沖ノ浜―貿易・軍事の拠点―沖ノ浜―の実像から瓜生島伝説を探る―
〈世界史コース〉					
愛下 歩	ビスマルクが植民地政策を開始した動機はなにか?	藤本 慎二	北欧社会のキリスト教化について―その前提としての『エッダ』の分析―	木村野乃子	筑前鶴岡神社のヤブサメ―その歴史と行事―
阿部 佳織	神聖ローマ帝国における三十年戦争(1618―1648年)	松堂 正偉	琉球王朝時代の琉球と中国との関わりについて	末次 佑実	記紀神話―その神々の物語と性格の違い―
奥 美咲	東南アジアと日本の関係	宮瀬 裕理	中越戦争について	波多江聖奈	災害と怪談―ネットで語られた東日本大震災の怪談―
甲斐 祐気	幻獣と人間の関係―ギリシア・ローマ地方―	森 なつみ	紋章―英国紋章の変遷―	樋口 和紀	唐津くんち―唐津市民と都市祭礼―
小熊 優里	インカ帝国の地方支配と道の役割	山口麻莉奈	ガウディはカタルーニャのなに		

廣瀬大翔弥 豊後におけるキリシタン信仰―

イエスズ会と義鎮―

田中 光子 横穴墓の出土人骨からみた親族

構造

前畑 芳宏 地方薬店の製薬と販売―筑後山

門の松尾薬店を事例として―

田上 悟大 九州における縄文時代の陥し穴

九州と韓半島の剥片尖頭器につ

吉竹 千穂 日本人と鰻―鰻を取り巻く信仰

と文化―

中根 涼芳 弥生時代の織物について―特に

絹織物を中心として―

〈考古学・保存科学コース〉

足立 慈恵 馬具(雲珠)の保存処理について

鮎川 和樹 民俗考古学的方法による小鹿田

焼の研究

中原 彰久 九州地方における古代山城城門

の変遷について

岩永 悠暉 先史時代における対馬の生業―

特に漁業を中心として―

成合 修造 日向地域における稲作の受容―

憶遺跡を中心に―

大矢健太郎 国庁からみた国府―機能と建物

配置を中心に―

錦織 植哉 立岩産石庖丁の再評価について

濱口 蛭 別杵地域における後期古墳の特

片岡 翼 日本の軍船

河内 花織 古代の琴の機能・用途について

―出土遺物を中心に―

檜垣龍之介 北部九州における考古学的知見

から見た葬送研究

川野 啓太 戦跡考古学の視点から見た負の

遺産の研究

松尾 光 豊前地域の窯跡について

熊本県における縄文後・晩期社

窪田 優也 縄文・弥生時代の南西諸島の貝

の利用

松下由香里 室内環境における新岩絵具への

影響

小中原 南 掛軸の修復と自然科学的調査

鮫島 葵 上三草北山古墳出土ガラスビ―

ズ小五の材質と製作技法

村田 仁志 熊本県八代市有佐貝塚出土資料

の整理と 2・3 の考察